

入学倍率が約100倍とされるブラジル航空技術大(ITA)で2月から航空分野を学ぶ。袋井市の静岡理工科大理工学部3年。静岡市駿河区出身。22歳。

―留学の経緯は。

「ずっと車が大好きで、自動車に携わる仕事に就くのが夢。ブラジルで学ぶのは先端の航空分野だが、目標はそれを日本の自動車産業に生かすこと」

―ITAの特徴は。

「世界有数の旅客機メーカーとして知られるエンブラエル社と技術者養成へ提携している。ドローンを題材にした『制御工学』や車

ブラジル航空技術大に留学する

矢野 幸子 さん (袋井市)

この人



の完成後の動きなどをシミュレーションする『モデルベース開発』を学ぶ」
―静岡理工科大で情熱を傾けたことは。

「学生がフォーミュラカーの性能を競う『全日本学生フォーミュラ大会』に出場したくて入学した。ITAの学生たちもブラジルの

同様の大会に出場を希望している中で、かなってほしいと聞いているのでぜひ力になりたい」
―抱負を。

「自分が大好きなこともあり、若者の車離れはさみしい。車には外見より、システムなど内面が顧客に求められていると思う。車好きが増えるよう、ドローン技術や航空の安全制御の分野をいつか自動車に生かせるようになりたい」

◇ 軽乗用車が愛車だが、いつの日か自らが携わったスポーツカーに乗りたい。